

# 浄土真宗本願寺派 西光寺寺報

## 「平等覚に帰命せよ」

慈光照護のもと、門信徒の皆さまにはますますご清祥にお念仏ご相続のことと慶賀に存じあげます。

時の経つのは早いものです。もう住職の一周忌が間近に迫って参りました。ご門徒の皆さまとともに一周忌をお迎えしたいと思いますので、お参りいただきませうようお願いいたします。お手伝いも大歓迎です。

私自身も、学校を退職して10年目になりました。また、ご縁があつて平成10年から活動してききました福井青年劇場も昨年末を持って解散いたしました。芝居がなくて寂しいだろうとよく言われますが、駆け出しの住職としてやらなければいけないことが山積しており、とてもそんな余裕はありません。ご門徒の皆さまにも多大なご迷惑をおかけしておりますが、なんとか軌道に乗せたいと思っております。どうかこれからご指導よろしくお願いたします。

さて、標題の『平等覚』とは阿弥陀如来の

# 永代経・一周忌にお参りください。

## 7月26日(日) アサ10時・ヒル2時

別名です。あらゆるものを平等に見る『諸法平等』の理を覚られた仏さま、無差別平等の如来さまということから『平等覚』と名付けられています。私たちはあらゆるものにならなければならないので区別し、それが差別につながっています。家柄、学歴、仕事、収入、財産……きりがありません。人間の歴史は、平等な世界を作ろうとしながら、ますます不平等な世界を作ってきているような気がします。法蔵菩薩のたてられた四十八願のうち第三願は『悉皆金色願』といい、浄土に生まれるものは皆金色にならなければならぬと誓われています。この場合、金色を『無上』(このうえないもの)といたたくとよいと思えます。また、第四願『無有好醜願』といい、浄土に生まれるものには美醜がないと誓われます。これは『みな美しい』といたたくべきでしょう。あらゆる生きとし生けるものが今生の命終え、往生する阿弥陀如来の浄土には、人も猫も魚もゴキブリもみなこの上なく無上でみな美しいのです。すべてが平等で穏やかな世界がめぐまれているのです。

南無阿弥陀仏によつて皆浄土へ往生させていただく浄土真宗の教えは、世の中がどう変わつてもなくなることはないどころか、阿弥陀仏の浄土こそが究極の真実の世界だと思えます。どんなときでも私の依りどころとなり、おまかせして生きる安心がそこにはあります。浄土真宗は聴聞に極まっています。どうぞいろいろな機会にお寺にお参りして仏法に触れていただけたらと念じております。

※法蔵菩薩Ⅱ阿弥陀如来の修業時代の名

## 「永代経・一周忌・本納骨

### のご案内」

日	10時〜永代経	14時〜一周忌
26日(日)	新制 日中 佛説観無量寿経 法話一席	速夜 佛説無量寿経 四十八願 法話一席
	本納骨法要	

ご法話 本願寺布教使

奥田 順誓師です。

前号でもお知らせした通り、今年も永代経を一月遅らせて前住職の一周忌と併修させていただきます。しかも今年はお日中とお速夜になります（例年はお速夜とお初夜）。お間違えのないようお願いいたします。

また、七回忌を過ぎて当山納骨堂に安置してあるご遺骨の本納骨法要を、お日中の永代経法要の後に執り行います。関係のご門徒さまにはご案内を同封してあります。ご覧ください。

なお、今年も簡単ですがお齋をお出しいたす予定ですので、どうぞ朝からお参りいただき、ゆつくりお昼も寺で過ごしていただいで、二時からの前住職の一周忌にもお参りいただければ有り難く存じます。

昨年の住職の満中陰法要には、わざわざ大阪からお参りくださったご門徒さまもいらつしやいます。誠に有り難いことです。この私を救わんがために建立してくださった阿弥陀仏の誓願です。たった今が聴聞の時です。お参りできなくなつてからでは遅いですよ。

### 「おぶくまい（御膳米）についで」

昨年までのレジ袋に関して、あるご門徒さまからご指摘をいただき、よそのお寺を参考

に新しい袋を作成してもらうことになりました。しかし、私が怠惰なために注文が遅れ、納品が法要ぎりぎりになりそうです。間に合えば町内のご門徒さまには配布させていただきますが、間に合わなかつたら昨年同様レジ袋にマジックで記名の上お持ちください。本当にだらですみません。

### 「本願寺新報を読もう！」

以前にも書きましたが、浄土真宗本願寺派（お西）の門信徒でいらつしやるなら、ぜひ本願寺新報のご購読をお願いいたします。月三回発行・年間四千円ほどです。普段なかなか聞けない浄土真宗のみ教えをやさしく説いてくださる紙上法話や各地の法座情報、お念仏をいただいで生きるご門徒（お同行）の活躍など盛りだくさんです。今回本山に申し込んで、特別号を送つてもらいました。すぐにゴミにしないでどうぞ一度目を通してくださいね。

### 「お仏壇を伝える」

#### 「ごころを伝える」を配布!

これも本願寺に申し込んで、門信徒さまの数分だけ送ってもらいました。どうぞ若い方にも読んでもらつてください。お仏壇は本来『ご家族の誰かが亡くなつてから』お迎えするものではありません。どうぞこれも

よくお読みください。これまでほとんど何も無料で配布することのなかつた本山ですが、ご門主が代わられてから本気度が上がつていると感じます。しかし、読んでいただいでこそ配布した価値があるというものです。みなさんのご感想をお参りした時などにお聞かせください。

### 「文化講座開催！」

三国町仏教会主催の文化講座が左記の日程で開かれます。たくさんの方の皆さまのお越しをお待ちいたしております。

<b>日時</b>	7月18日（土）午後1時30分
<b>会場</b>	三国町コミュニティセンター （旧三国公民館）3階視聴覚室
<b>講師</b>	『福井の自然からごころを考える』 増永迪男氏（福井山岳会会長）
<b>入場無料</b>	

※来寺のお約束や、お参りの変更など、重要なことは必ず住職の携帯にご連絡下さい。出られなければ留守電に入れてください。こちらからご連絡いたします。

内嶋淳浩 090-8967-7902

メールアドレス

soichiro4989@gmail.com